

## 令和5年度 第1回

### アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会 会議録

- 日 時：令和5年5月31日（水）15時30分～17時00分
- 場 所：フェリエ 5階 市民交流プラザ 大会議室
- 出席委員：肥塚座長、加藤副座長、岡井委員、高田委員、神部委員、東野委員、秦委員、磯部委員、中野委員、有村委員、正木委員、笠井委員、木村<sup>沙</sup>委員、小林委員、卓委員
- 欠席委員：田畑委員、清家委員、木村<sup>睦</sup>委員
- 傍 聴 者：1名
- 事 務 局：総合政策部 金森部長、山本副部長  
草津未来研究所 角副所長、竹中チーフディレクター、山口ディレクター
- オブザーバー：立命館大学地域連携課 布施担当課長、梅村課長補佐

#### 1.開会

##### 【事務局】

定刻となりましたので、アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会を開催いたします。

なお、本日は傍聴者が1名おられます。

はじめに、総合政策部長の金森が御挨拶を申し上げます。

##### 【金森部長】

皆様、こんにちは。本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、令和5年度が始まり早くも本日で2ヶ月が経過いたしました。新型コロナウイルス感染症もゴールデンウィーク明けの5月8日に、これまでの2類から5類に引き下げられ、行動の制限も緩和されております。また、例年よりもはやい5月29日から梅雨入りとなっており、鬱陶しい季節が続く状況でございます。

そうした中で、アーバンデザインセンターびわこ・くさつでは、令和5年度も産・学・公・民の様々な主体の方々が集まり、意見を交わして長期的な見通しを持った都市デザイン、まちづくりを構想していきたいと考えております。

また、今年度の事業については、市の施策への反映という点を重視して取り組んで参りたいと考えておりますので、本日も忌憚のない御議論、御意見をいただきますようお願い申し上げます。

本日はどうぞよろしくお願いたします。

##### 【事務局】

それでは次に、今年度から新しく委員になられました方の御紹介をいたします。

<紹介>

それでは、次第に従い、議事を進めてまいりたいと思います。

本日の議事の進行については、座長の肥塚様をお願いしたいと思います。肥塚座長よりよろしくお願いいたします。

【座長】

本日は令和5年度の第1回目ということで、令和4年度の事業報告を受けることと、令和5年度の事業計画について協議を行う予定でございます。

また、今年度は市の施策への反映やまちづくりの人材等を重視した施策や事業を展開していくということが、UDCBKの新たな展開ということでございます。それを受けて今回の事業計画が作成された形になっておりますので、皆様にはこのことについて忌憚のない御意見、御質問をいただければと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

2. 報告

【座長】

それでは、議事に入っていきます。

最初に次第の2. 報告でございます。UDCBKの令和4年度の事業報告を事務局から御説明お願ひいたします。

【事務局】

※資料2『UDCBK 令和4（2022）年度 事業報告』に基づき説明。

【座長】

ありがとうございました。

昨年度の2月からなので、短い期間の事業活動を中心に報告いただいたところでございます。今回から参加いただいている委員については、初めてのところもあるかもしれないですが、大半が前回に報告されたというところがあり、このような説明になったものと思っております。1年間の振り返りということでもありますので、何か御質問、御意見がありましたら、よろしくお願ひいたします。

【A 委員】

質問ですが、大学生が住むまちプロジェクトの中で、立命館大学の活動メンバーから提案が行われたという報告がされましたが、その後、UDCBKで何か取り組まれたことがあれば教えていただきたいと思ひます。

【事務局】

この事業については3月25日に実施いただきまして、鉄道研究会ということもあり、JRの職員様にも来ていただき、「参考になった」という御意見いただいております。

市としましては、JRだけでなく南草津駅周辺の交通問題は大きな課題でございますので、学生から提案いただいた内容については、今後の施策への反映を目指して、市の交通政策課に成果資料をお渡しいたしました。

これがすぐに何か施策へ反映されるというものではございませんが、今後の施策に参考にされるものと考えております。

また、立命館大学に対する提案もございましたので、立命館大学の地域連携課にも情報提供いたしまして、参考にさせていただいております。

【B 委員】

情報発信の件で、FacebookやInstagramでの発信という説明でしたが、どれだけの

人が、FacebookやInstagramを見ていただいて、どれくらいの効果、例えば、Facebookでどれくらい「いいね」があったのか等、そのような効果の根拠となるデータがあれば教えていただきたいです。

#### 【事務局】

効果については、一概に申し上げられないと思いますが、Facebookを発信することにより学習事業への参加いただいたケースもあります。ただ、Facebookを見られる方ということで、昨年度はWebでの参加が多かったと思っておりますが、今年度、市の施策への反映を目指している中で、Web参加の方が多いだけでは、議論を進めるのが難しくなるのではないかと考えております。

このようなInstagramやFacebookといった新しいツールは非常に便利ですが、それを使うことで市の施策への反映につながるかというところを考えながら、参加者の確保につなげられればと思っております。

#### 【B委員】

どういう広報の仕方が効果的なのか。UDCBKの事業に参加された方にどこで情報を知ったのか調査したりしながらデータを蓄積してもらおうと、「このような講座だったらこのメディアを使うと非常に情報が伝わりやすい」とかそのようなことがわかると思いますので、そのような情報を集めて、確認をしながらやっていただきたいと思います。

#### 【C委員】

私は毎週UDCBKのスペースを借りて活動していますが、自分たちの活動している様子をInstagramで発信しています。一方、UDCBKのInstagramは休室のお知らせや休みの時間とか、セミナーやスクールの開催後に何があったかというような発信されていますが、全くこの場所を知らない人はどういう活動が行われているのか想像しにくいと思います。UDCBKがどこにあるのか、どのようなスペースなのか、どのような人が利用するのか、どんなことができるのか、そのような情報が得られない状態だと思います。

例えば、Instagramは若い人向けだと思うので、若い人には写真を通してどういう活動しているかを発信して、見た人はそこに一步入ってみようかなと思いはじめると思うので、UDCBKの普段の様子をもう少し発信してもらえば、見る人にもわかりやすくなると思います。人に来てもらうことが1番なので誰が見てもわかりやすいような投稿をしてほしいです。

#### 【事務局】

事務局もこのホームページやInstagram、Facebookといった情報発信は非常に課題があると思っており、今年度の事業計画の中でもお話ししようと思っておりますが、ホームページを見やすくするために準備をしています。

その際に、Facebook、Instagram、Twitter等、いろいろなツールを検討しながら、御提案いただいたように、いかに情報を届けるかということを考えながら上手く周知をしていきたいと思っております。

#### 【D委員】

確かに、Instagramでの発信が事後報告になっているところがあり、事前に情報発信をしていれば、もう少し効果があったかなと思うところがあります。チャットのような機能があたり、若い人向けのインパクトがある画像を投稿するとよいのではないかと

思います。

また、文章が長く、読み込まないと理解できないと置いていたところがあり、ターゲットを誰にするかによって、文章も考えた方が良くと思います。低い年齢層をターゲットにする場合はどのような文章にすればよいか、どのような絵や写真を使うか、そういうところを工夫すると効果があると思います。

今後、スクール事業を今までと違う形で実施されると思うので、その対象者に合わせていけば良いと思います。

**【事務局】**

ターゲットをどのような方にするかを想定しながら情報発信をしていきたいと思えます。

**【E 委員】**

先ほどからの議論を聞かしていただいておりますと、この後の令和5年度の事業計画の説明の中で御意見を述べられる方が効果的な内容かなと思えました。

また、今回の資料は報告という形でまとめられていますが、加えて、次に活かす視点を含めて資料をまとめられた方が報告として望ましいかなと思えましたので、よろしくお願ひします。

**【座長】**

では、事業報告はこの内容でお受けするというところで議論を終了いたします。

### 3.協議

**【座長】**

続いて、協議事項に移ります。

令和5年度の事業計画について、事務局から説明をお願いいたします。

**【事務局】**

※資料3『UDCBK 令和5（2023）年度 事業計画』に基づき説明。

**【座長】**

委員の皆様から御意見をいただく前に1点確認をしたいのですが、産学公民連携による事業のところ、こだわりマルシェについては、先ほど5月27日に実施しましたという御説明がありました。この資料は今年度実施される事業計画の御提案と認識しておりますが、今後もこのような事業を実施するという説明の理解でよろしいですか。

**【事務局】**

この事業については、東山道記念公園の利活用ということで掲載しております。

本来ならば、年度始まりに会議を開催すべきだったのですが、本日が5月31日ということで、結果を掲載するような形になっております。

今後については、まだ事業を継続するかどうかということは確定していませんが、昨年度に引き続き2年連続で事業を開催しておりますので、来年度に向けて準備をするのか、今年度内にもう1回やるのか議論をしていくことになると思っております。

**【座長】**

今後、そのような方向性で検討されるということで、御意見いただいたらよいということを受けとめようと思います。

**【D 委員】**

今年度の肝となるのが、都市デザインマネジメントスクールだと思いましたが、スケジュールを見ると6月からスタートするという記載されていますが、何か具体的な内容について、金額はいくらで、ターゲットはどのような方ということが確定しているのであれば教えていただきたいと思います。

**【事務局】**

資料のスケジュールの中で、6月中旬から始まっていくという形になっていますが、先日、この事業を推進、支援いただくコンサルタント事業者を確定したところでございます。今後、少しスケジュールが後ろ倒しになり、7月から8月頃からワークショップや社会実験を実施していく流れになると考えております。

現在の計画の中では、ワークショップを4、5回実施し、その中で専門家等を招へいしながらのワークショップと社会実験を合わせて実施していくことになると考えております。

最終的には、12月頃までにワークショップや社会実験を終えて、意見の集約をしていきたいと思っております。今年度については、都市計画部が策定する計画に当該スクールの意見を反映するところを目指しておりますので、12月頃がリミットになるものと考えております。

**【座長】**

この事業の募集はいつから始まりますか？どのようなツールを用いて、どのぐらいの参加者を募集するのか、もう少し詳しく説明していただいた方がよいと思います。

**【事務局】**

参加者については、地域住民や事業者の方が対象になりますが、南草津エリアのまちづくり協議会にもお話に行こうと思っており、紙媒体やWeb等を使いながら、広く参加者を募集する予定をしております。南草津駅周辺の事業者等については、目星をつけて直接お伺いして御説明をしたり、フェリエにも関わる話になりますので、フェリエのテナント会を訪ねてみたりと、直接こちらから周知して、参加を募りたいと考えているところでございます。

**【座長】**

一般的な募集と合わせていろんな方に声をかけてお願いに上がるということで理解しました。

**【D 委員】**

市民や学生、事業者をターゲットとして考えておられると思いますが、以前お伺いした内容では、スクールの参加費が高い金額設定だったイメージですが、このすべてのターゲットに参加いただくにあたって金額の設定が難しい印象ですが、今時点で何か金額の詳細は決まっていますか？

#### 【事務局】

参加費を徴収することは考えておりません。無料で参加いただいて、その中で意見をいただくという形を考えております。

おそらく、昨年度の懇話会の中で、UDCO（アーバンデザインセンター大宮）の方ではスクールの参加費を徴収しているという事例があったと思いますが、今回、我々が考えているスクールについては、参加費をいただくことは考えておりません。

#### 【D 委員】

このスクールの成果を都市計画部の計画に反映していくと書いてありますが、どのような形で反映する予定ですか？情報共有するだけなのか、何か具体的に施策まで踏み込んだ提案ができるのか教えていただきたいと思っております。

#### 【事務局】

都市計画部の交通政策課で南草津駅周辺の交通対策事業を進められており、その中で、交通対策については短期対策と合わせて10年後、20年後を見据えた中長期対策についても考えられております。

都市デザインマネジメントスクールの成果として、短期対策に対して考えたことを反映させることはスケジュール的にも難しいと思っておりますので、どちらかという中長期的な対策に対して、当該スクールでいただいた意見を反映させたいと考えております。

また、都市計画部の方では、最終的に基本計画を策定することになり、この基本計画の中にどのような形で掲載されるかはまだ決まっていますが、皆様からいただいた意見を反映させていきたいと考えております。

反映に向けては、都市計画部と十分に情報共有していく必要があると考えておりますので、今年度の成果として出てきた答えを都市計画部に渡すのではなく、それぞれのワークショップの段階から情報共有をしたり、実際にワークショップに都市計画部にも入ってもらおうといった形で、皆様がどのように考えておられるのか知っていただくといった形で進めていきたいと考えております。

#### 【F 委員】

南草津駅前の活用を考えると、フェリエについての議論は避けて通れないことだと思いますが、フェリエは土地の信託をされているということで、数年後に所有権が草津市に還ってくるとしても、返還までの間に遊ばせておくことは難しいと聞いたことがあります。それは勿体ないことだと思うのですが、この都市デザインマネジメントスクールに信託銀行あるいは信託会社の方も参加する機会を設けていただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

#### 【事務局】

フェリエを抜きにして南草津駅周辺の利活用を考えることは難しいと我々も考えており、信託銀行とのやりとりが非常に重要になると思っております。

昨年度の社会実験準備事業の中でも、フェリエについて考える事業があり、その成果報告会には信託銀行の方にも、Webで参加いただいており、社会実験の中で皆様がお考えいただいたことについては聞いていただいたというような状況でございます。

また、本日の午前中に信託銀行と都市デザインマネジメントスクールについて協議をしたところであり、信託銀行に直接参加いただけるかは未確定ですが、御協力いただけるような話を伺っております。特に、テナントの方々に事業に参加してもらうように御協力いただけるというお話をいただいております。

### 【B委員】

都市デザインマネジメントスクールの内容の中にもワークショップや社会実験が位置づけられていますが、これは社会実験準備事業のことを指しているという理解でよろしいでしょうか。

### 【事務局】

ここに記載されている社会実験は社会実験準備事業とは別でございます。ワークショップの中で出てきた意見を参考にしながら、社会実験をするという形をイメージしております。

### 【B委員】

具体的に施策へと反映させていくためには、学びと社会実験とを連動させていくことが必要だと思います。共生のまちづくり、地域づくりというのは行政だけでできるものではなく、施策に対する市民の理解があって初めてうまく回っていくものだと思います。

要するに、このような社会実験準備事業で例えばウォークブルというテーマを設定したら、それに合わせて都市デザインマネジメントスクールでも市民の皆様にウォークブルな都市空間について考えてもらうような形態が良いと思います。スクールの中で都市づくりを考える上で必要な基礎的なことや方向性を学びながら、具体的な部分は、社会実験として方向性や方策を模索するように2つの事業がうまくマッチングすると良いと思います。

今まではそれがバラバラで、社会実験は社会実験だけで募集をして、出てきた成果は少しずつ変わってはいましたが、それが市政に反映できているのかといわれると成果報告だけで終わっているような状態で、報告後に相手方がそれをやるかやらないかは向こう任せで、UDCBKとしては報告するまでが仕事ですというようなところがあって、少し不満に思っていました。

今回やっとそのように都市計画部のニーズを把握しながら社会実験や都市デザインマネジメントスクールのテーマを決められたことは、すごく良いことだと思っています。都市デザインマネジメントスクールがニーズに合わせてテーマが設定されて、市民が学びながら社会実験を行い、最後に事業の成果発表会を行うような流れで実施ほしいと思っています。

また、この成果発表会を事業全体の最終回として位置付けることで、発表会で事業成果を確認しながら、設定したテーマについて皆様に改めて議論をしたうえで提案をまとめ、それを都市計画部に意見として返していくような流れが良いと考えます。

### 【事務局】

今年度については、都市デザインマネジメントスクールと社会実験準備事業が別のような形になっていますが、これらの事業がうまく関連するように事業を進めていきたいと思っています。

また、都市デザインマネジメントスクールのテーマについては、都市計画部の課題にフォーカスして事業を組み立てており、社会実験準備事業については、都市計画部が取り組んでいることを中心にテーマを4つ設定して、大学の方からこれに沿った提案をいただく事業予定となっておりますが、すべての事業は「南草津駅周辺をどうしていくか」というテーマにところに繋がっていくものと思いますので、御意見いただいたとおり、それぞれの事業を関連させながら進めていきたいと思っています。

### 【座長】

都市デザインマネジメントスクールと社会実験準備事業は、市の方で焦点を合わせて進めているということで理解しました。

社会実験準備事業について、どのようなテーマに沿って提案がされるかは今後わかっていくところではありますが、提案された事業と都市デザインマネジメントスクールにおける社会実験やその成果について、その内容を施策に反映するにあたっての組み立てや関連付けがうまくいくとより良いと考えます。

そういう意味では、都市デザインマネジメントスクールについては今年からの取り組みとなるので手さぐりのところもあると思いますが、いただいた意見を参考にしながら、関連付けはあればあるほど良いと思います。

また、関連付けという考え方の中で、スケジュール的な問題から成果発表会を一緒にできないとしても、連携していることがわかるようなように、例えば、報告会をシリーズとして開催するような工夫はした方が良いのではないかと感じました。

### 【G 委員】

社会実験準備事業という名前が誤解を生む名前になっているのだと思います。この事業は単に大学への調査委託という形で、実態としては社会実験をしておりません。御意見いただいたように、今のままでは良くないと思いますので、今年度はすでに都市デザインマネジメントスクールと社会実験準備事業を個別に進める形で事業が進んでおりますが、来年度に向けて調整をすべきものと考えます。

今年度の予定としては、社会実験は都市デザインマネジメントスクール中で行うことになっておりますので、もし、都市デザインマネジメントスクールのワークショップに参加可能であれば御参加いただいて、そのワークショップの中で社会実験の御提案をいただきながら具体的に社会実験を進めていきたいと思っております。

一方、社会実験準備事業という大学への調査委託については、実態として、応募してくださった研究者の研究成果として報告をいただいて終わりという形になっておまして、UDCBKの事業としてまちづくりに関連するような成果には今のところつながっていないのが実態であり、このあり方についても見直す方が良いのかなと思いました。

引き続き、調査委託なら調査委託として、社会実験として実施する方が良いということであれば、前年度から「次年度はこの社会実験をやろう」と決めて社会実験として実施し、都市デザインマネジメントスクールとも連動させる仕組みづくりを今年度考えていきたいと思っております。

### 【座長】

この懇話会に長く関わっている方は「準備」はいつ取れるのかなというお話があったことも御存知だと思いますが、今年度は御説明いただいた形で進めていただいて、予算取り等の手続きもあると思いますが、関連付けられるところは関連付けて実施いただきたいと思っております。

また、G委員からも御発言ありましたように、令和6年度に向けてこれをどのような位置付けにするのかという問題提起としても受け止めていただく必要があると思えます。これは市の事業ですから市の意向もあるとは思いますが、非常に重要な問題提起として私も感じておりますので、これは受けとめさせていただく必要があると考えます。

### 【H 委員】

都市デザインマネジメントスクールには行政の職員も巻き込んでいただきたいと思っています。南草津駅の乗降客数は県内第2位の利便性の高いエリアであり、この南草



津駅やその周辺を利用する人たちはいろいろな要望を持っていると思います。それを具体的に何かの施策に落とし込んでいくということで、対象となるエリアにおいて何ができるのか、また、都市空間のどの部分に我々が関わることができるのかということを考えてようとしているものと思います。

ただ、対象エリアに限らず、もう少し広いエリアを利用している人がたくさんおられ、その情報を行政が持っていると思いますので、成果発表だけではなく、検討の段階から行政の人に関わってほしいと思います。このエリアで何をするのかという具体的なことを考える場合は市民の方の考えが重要になりますが、都市全体のことを考える場合はやはり行政の力が大きいと考えますので、是非関わっていただきたいと思います。

#### 【事務局】

行政の参画につきましても、都市計画部を中心に事業に関わっていただく予定をしております。

ただいまのH委員の御提案は、都市計画部だけでなく、他の部署にも関わってほしいという御意見でよろしいでしょうか？

#### 【H委員】

事業を行うにあたっては事務局から最初にレクチャーを行い、情報提供等を行いながら、具体的な検討をワークショップの中で行っていくような形が良いと思います。

例えば、これまで南草津駅周辺のまちづくりの構想を作っていると思いますが、いろいろな所属が市民にアンケートを行っていて、その中で事業者や大学生といったいろいろな方のニーズが出てきていると思いますので、ワークショップに参加される方には、そのデータを事前にお見せして、行政から説明をいただくと良いと思います。

都市デザインマネジメントスクールに参加する人はすでになんかに取り組んでいる方もいると思いますが、そうではない一般の方も「便利で人も行きかっているけど、もう少しこうなってほしい」というような意見をお持ちの方がいらっしゃると思いますので、このスクールをきっかけにしながら、そのような人たちから南草津駅をよくするための意見をいただく必要があると思います。

#### 【事務局】

南草津エリアまちづくり推進ビジョンがすでに策定されておりまして、そのようなところから必要なデータも提供いただきながら、都市デザインマネジメントスクールを進められたらと考えております。

#### 【座長】

今年度から御説明いただいたように事業が進められるということで、特に、都市デザインマネジメントスクールについては、昨年度から御議論いただいてこのような形になり、まだ試行錯誤すべきところもありながらとは思いますが、いろいろな事業と連携するとともに、市の施策にきちんと反映していくことが望まれているということをご共有したいと思います。

## 4. 閉会

#### 【座長】

それでは、本日の議題はここまででございますので、進行を事務局にお返しいたします。

す。

**【事務局】**

皆様、本日はお忙しい中お集まりいただき、また、貴重な御意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

本日、皆様からいただいた御意見については、今後のUDCBKの運営および事業展開に反映いたしたいと考えておりますので、引き続きお力添えいただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、本日の運営懇話会を閉会いたします。